

令和6年度第3回四街道市総合計画審議会 会議録

日 時 令和7年2月14日（金）14時00分～15時30分
場 所 四街道市役所3階1号棟特別会議室
出席委員 大下会長 市川委員 日野委員 湯下委員 荒木（健）委員
返田委員 藤本委員 金親委員 舛田委員 中村委員
欠席委員 飯島委員 北村委員 荒木（寿）委員 小幡委員
事務局出席者 長田政策統括監兼経営企画部長 荒巻副参事 三好政策推進課長
木村企画係長 簗持主任主事 落合主任主事 西本主任主事
傍 聴 人 0人

——会議次第——

1. 開 会
2. 会長あいさつ
3. 会議の公開・非公開
4. 議 題
 - (1) 第3期四街道市まち・ひと・しごと創生総合戦略案について
 - (2) その他
5. 閉 会

——会議概要——

1. 開会

【事務局】本日は、ご多忙の中、令和6年度第3回四街道市総合計画審議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

これより令和6年度第3回四街道市総合計画審議会を開会いたします。本日は、委員定数14名のうち10名にご出席をいただいておりますので、会議が成立していますことをご報告させていただきます。

なお、印旛地域振興事務所の飯島委員、四街道市商工会の北村委員、JA千葉みらい四街道支店の荒木委員、連合千葉中央地域協議会の小幡委員につきましては、所用により本日欠席のご連絡をいただいておりますことを併せてご報告いたします。

2. 会長あいさつ

【事務局】それでは、大下会長よりごあいさつをいただきたいと思います。大下会長、よろしく願いいたします。

【大下会長】～あいさつ～

【事務局】ありがとうございました。それでは、以後の会議の進行につきましては、四街道市総合計画審議会条例第6条第3項により、会長が議長となることとなっておりますので、大下会長、よろしく願いいたします。

3. 会議の公開・非公開

【大下会長】それでは、これより進行を務めさせていただきますので、よろしく願いいたします。

会議録の作成についてですが、「四街道市審議会の会議の公開に関する指針」により審議会は、会議録を作成することとなっております。

なお、会議録における発言者名については、「審議会等の会議の公開に関する指針の解釈運用基準」の規定により、原則として明記することとなっておりますので、本審議会においても明記する取扱いとしたいと存じますが、よろしいでしょうか。

【各委員】～承認～

【大下会長】それでは、会議録には発言者名を明記することといたします。会議録は事務局が作成することとし、出席委員を代表して藤本委員、中村委員に会議録の内容確認をお願いしたいと思いますと思いますが、委員の皆様いかがでしょうか。

【各委員】～承認～

【大下会長】藤本委員、中村委員よろしいでしょうか。

【両委員】～承認～

【大下会長】それでは、会議録の内容確認を藤本委員、中村委員をお願いいたします。

続いて、本日の会議の公開・非公開につきましては、「四街道市審議会の会議の公開に関する指針」により、公開とさせていただきます。

また、会議資料につきましては、「審議会等の会議の公開に関する指針の解釈運用基準」の規定により、傍聴人の閲覧に供するものとしますが、このうち、会議次第につきましては、配布するものいたします。その他の資料につきましては、本審議会

の判断によるものとされております。

私といたしましては、本日の資料については、全て配布するものとしたいと存じますが、委員の皆様の意見をお伺いします。

【各委員】～異議なし～

【大下会長】それでは、本会議は「公開」とし、傍聴人に資料を配布することとします。事務局は傍聴の方がいらっしゃいましたら入室させてください。

【事務局】傍聴人はいません。

4. 議題

(1) 第3期四街道市まち・ひと・しごと創生総合戦略案について

【大下会長】次に、議題（1）について事務局より説明をお願いします。

【事務局】～議題（1）について 説明～

【大下会長】ただいま事務局より説明がありましたが、ご質問、ご意見等ありましたら、お願いします。

【湯下委員】全体として分かりやすい構成となっていると思います。その上で、一点お伺いします。

人口ビジョンについて、四街道市として持続可能な行政運営を行うに当たって、最適な人口規模、人口構成に関する記載がありませんが、そういったものの想定はあるのでしょうか。市として、目指す人口構成等があるのでしたら、記載した方が良いのではないかと感じました。

【事務局】適正な人口規模や人口構成について、市として明確な目標等は設定してございませんが、急激な人口減少や少子高齢化の進行による生産年齢人口の減少は、地域経済の衰退のほか、市税収入の減少に伴い都市基盤整備や公共施設の更新が困難となるなど、様々な課題の発生につながることから、急激な人口の変化に関しては、その抑制ができればと考えております。

また、持続可能な街に向けては、各年齢階層の構成がより均等で、年少人口・生産年齢人口・老年人口のバランスが取れた構成となることが望ましいと考えられます。

そのため、人口ビジョンにおける人口の将来展望の結びにおいて、地方創生の深化・加速化に取り組むことで、将来にわたってバランスのとれた人口構成の実現を図る旨を記載しました。

【舛田委員】総合戦略の内容が漠然としてしまっているため、現実的には難しいのかもしれませんが、例えば、国からの地方交付税が不交付となることを適正な自治体の規模だと捉え、指標として設定し、歳入増に向けて、人口増や企業誘致に取り組むといった構成だと、わかりやすくなるように感じました。

【市川委員】13ページの1歳階級別人口の変化率について、大学卒業に当たる22歳から24歳の女性が多く転出している点と、その後、20代後半から30代後半までの男女、子育て世代が多く転入してきているとの説明がありました。

このうち子育て世代の転入については、子育てしやすい環境が評価されていてとても良いことだと思いますが、22歳から24歳までの女性が四街道市から出て行ってしまふのを防ぐことも重要な課題であると思います。

また、25ページの本市における地方創生の課題において、若者の6割以上は、四街道市を転出した後Uターンの意向があるとしている一方、3割強は戻りたいとは思わないとの意見があるとしています。こういったネガティブな意見を持つ方へ丁寧にフォローすることが大切なのだと思います。

こうした流出入に関して、市が把握している背景や今後の対応などについて、お教えいただければと思います。

【事務局】本市における地方創生の課題については、総合計画の策定に際して実施したアンケート結果などを踏まえて記載しています。若者に関しては、委員ご指摘のとおり、転出した場合に四街道市に戻りたいとは思わないという意見が3割強あったことから、四街道市で生まれ育った方が愛着を持って四街道市で住み続けたい、また、転出しても戻ってきたいと思ってもらえるような街に向けたまちづくりが必要であると考えています。

そのため、総合計画及び総合戦略で掲げる4つのまちづくりの道において、未来を応援する道の中では、若者の夢や希望を応援する取組を、また、ふるさとを誇れる道の中では、四街道が持つ人・自然・歴史などの地域資源を活かした、みんなが好きなまちに向け、魅力あるふるさとづくりに向け取り組んでまいります。

そして、四街道市に愛着を持って住み続けていただくことが一番ではありますが、転出された場合にあっても、ふるさと納税などを通じて、四街道市との関係を継続していただき、関係人口の創出につなげていければと考えております。

なお、22歳から24歳までの女性が転出超過の傾向があることについては、大学卒業頃の年齢でございますので、主に就労先の関係ではないかと考えております。

【金親委員】私が以前、千葉市の人口ビジョンの改訂に関わった際には、千葉市においても同様に22歳から24歳までの若い世代において、多数の転出が見られておりました。大学卒業や就職の関係で、転出されていたのかなと思っております。四街道市は女性の転出が多いとのことですので、同様の分析ができるかはわかりませんが、同じようなことが言えるのではないのでしょうか。

【荒木（健）委員】千葉県は、東京都と隣接していることから、他県と比較して、大きな地理的優位性を有していると思います。県内を見ると、流山市などは高い地理的優位性と子育て施策の充実により、子育て世代から高い評価と注目を集めております。四街道市は、都心に近く千葉市に隣接している立地にあります。少子化対策に向けた子どもへの手厚い支援などは総合戦略に盛り込まれているのでしょうか。

【事務局】子どもへの支援につきましては、例えば、基本目標の未来を応援する道において、子どもの夢や希望を応援するため、来年度に実施予定のおしごと体験イベントを位置付けております。また、基本目標、こどもがまんなかの道においても、子どもの居場所づくりやこども医療費の助成、ひとり親家庭への支援など幅広く子育て世帯への支援について位置付けております。

【返田委員】基本目標、未来を応援する道の主な取組の中で、結婚新生活への支援、婚活支援、おしごと体験イベントの実施など、現在取り組んでいる取組や今後実施する予定の取組を記載されていますが、市民の方には伝わりづらいのかなという印象を受けました。紙幅の都合上、詳細に記載することは難しいかと思っておりますので、該当記事のQRコードを掲載するなど、市民が情報にアクセスしやすいようにするのがいいのでしょうか。

【事務局】委員ご指摘の取組については、新たに策定する総合戦略の主な取組として掲げ、今後さらに取組を推進していくものでございます。記事の作成がこれからのものもでございますので、QRコードの掲載は難しいものと思われまます。実施していく取組の詳細については、ホームページや市政だよりにて積極的に周知を図っていくところでございますので、市民の方に伝わりやすいものとなるよう創意工夫をさせていただければと思います。

【荒木（健）委員】市町村によっては、東京駅や新宿駅など通勤者がよく利用される都心の主要駅にPRの広告を打ったりすることもあります。四街道市は東京へのアクセスもよく子育て施策も手厚いかと思うので、そういった広報活動をされるのも市のPRには効果的かと思いますが、いかがでしょうか。

【事務局】基本目標、ふるさとを誇れる道の中で、シティプロモーション推進事業を位置付けており、京葉道路のパーキングエリアでの市の魅力を記載したPRパンフレットの配架や、東関東自動車道の上下線にPR横断幕を掲出など市外の方の認知度を向上させる取組を実施しています。過去に東京駅などの主要駅で広告を張り出したこともございましたが、広告に係る費用が高額だったこともあり、費用対効果の面から終了しております。

また、事業者との委託契約により、市がプレスリリースを行った際に、200社程度のメディアに一斉配信され、20社程度に取り扱ってもらえるよう体制を整えてい

ます。新聞などのメディアに取り上げられる件数を増やし、市の魅力や認知度向上に向けて取組を推進しております。

【中村委員】私は地域づくりコーディネーターとして、市民の方や市民団体のみなさんとお話しさせていただく機会が多く、その経験の中で HAPPY SMILE PLAN をより良いものとするのに、市民の方や市民団体の方と連携していくことの大切さを強く感じています。地域課題の解決に意欲的な市民の方や市民団体のみなさんとお話ししていく中で、四街道市の施策や取組について、知らない、分からないという声をよくお聞きします。

HAPPY SMILE PLAN の概要版はイラストも多く子どもにも分かりやすい内容となっておりますので、市が実施するイベントなど、沢山の方の目に触れるような形で周知活動をしていただければと思います。

【日野委員】まんがやイラストがあって、親しみやすい総合戦略になっているという印象を受けました。国・県の総合戦略において、多文化共生や、デジタル技術を活用した労働や教育分野における行政サービス等の向上などが特出されているかと思えます。四街道市の総合戦略案においては、本市における地方創生の課題の、デジタル技術の活用や多様な主体との連携による持続的・効果的な行財政運営において、国・県と同じ趣旨の記載があります。デジタル技術の活用と多様な主体との連携はそれぞれ大きな課題であることから、項目を二つに分け、記載してもよいのではないかと思います。

【大下会長】事務局の皆様ご検討いただければと思います。

【金親委員】大変よくできていると思えました。人口ビジョンについても、四街道市の人口動態を細かく分析されております。20代後半から30代後半までの子育て世代に転入超過傾向にあるのも、今後も若い世代の流入の余地があることを示していると思えます。引き続き若い世代が転入したくなる魅力あるまちづくりを進めていただければと思います。

【藤本委員】基本目標、人によりそうやさしい道の施策の基本的方向、安全安心で快適に過ごせるについてお伺いします。総合戦略案については、HAPPY SMILE PLAN を組み替えて作成されたとのことですが、安心安全という単語が指し示す範囲が、HAPPY SMILE PLAN 策定当時では防災が中心となっており、施策の基本的方向の内容も防災力の向上がメインとなっております。昨今、人命に関わる凶悪犯罪も報道されており、防犯についても安心安全の中に考えられるのではないかと思います。防犯カメラの設置などを市民ニーズがある取組についても併せて記載するのはいかがでしょうか。

【事務局】防犯については、基本目標、こどもがまんなかの道の施策の基本的方向、

子どもが健やかに成長できるの主な取組にて、防犯対策事業を掲げております。防犯カメラ設置などについては、国の交付金などの状況を注視しつつ、検討してまいります。

【湯下委員】地方創生2.0の「基本的な考え方」の中で基本構想の5本柱が示され、今後政府の中で肉付けされるものと思いますが、その中で地域の活性化など経済分野に係るものに重点が置かれているように思います。四街道市の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括を見ますと、地域における安定した雇用について、進捗がよくない状況です。第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の反省点や国の地方創生の今後の展開を勘案した四街道市独自の施策等を第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づけられたらよいのかなと思いました。

また、基本目標、未来を応援する道の施策の基本的方向、夢や希望を応援するの中で、結婚の希望をかなえるために支援した件数がKPIとなっておりますが、子育て世代から人気が高く、有配偶率が他市町村と比べ高い四街道市にとって、結婚支援の件数をKPIとするのはミスマッチなのではないでしょうか。

最後に、基本目標、人によりそうやさしい道の基本的方向、自分らしく暮らしているにおいて、ボランティアセンター登録者数がKPIとなっております。市民参加を意識しての指標かと思いますが、市民参加に関わるのは、ボランティアだけでなく、市民団体やNPOなども関わってきますので、ボランティアに絞った形でKPIとしてよいのかなと疑問があります。

【事務局】雇用の創出については、基本目標、こどもがまんなかの道の施策の基本的方向、子育てをみんなで支えるの中に取組を位置づけております。国は地方創生の10年間について、東京一極集中に歯止めをかけることができなかつたと整理しており、地方に魅力ある就労先を創出することで、東京一極集中に歯止めをかけることとしています。四街道市では、魅力ある就労先を確保し、企業立地を促進するため、現在、産業適地調査を実施しているところであり、調査の結果を踏まえた企業誘致を今後推進していく予定でございます。交付金を活用した取組については、国の動向を注視しつつ、検討してまいりたいと思います。

結婚支援については、合計特殊出生率の向上を目的に取組を推進しており、KPIを設定しているところです。結婚された方の方が未婚の方と比べ、出生率が高くなる傾向があることから、結婚を希望する若い世代への支援を行い、婚姻数の増加を促進することで、合計特殊出生率の向上を図っていくこととしています。

市民参加につきましては、ボランティアセンター登録者数以外にも、基本目標、未来を応援する道の基本的方向、活躍できる環境を整えるのKPIに「コラボ四街道」による協働事業件数を掲げています。また、HAPPY SMILE PLANの4つのまちづくりの推進力（エンジン）に市民協働や公民連携を掲げており、四街道市で実施する全ての事業において、連携を意識して実施してまいります。

【舛田委員】非常によくまとまっているという印象を受けました。市の事業を広くカバーされておりますが、市をPRするような印象的なものがないように思いました。総合戦略を推進する中で、市の売り込みをしていただければと思います。

【大下会長】委員各位から様々なご意見をいただきましたが、総論としてはわかりやすくまとまっているということでした。個別の事項については、第3期総合戦略の中で実施できる範囲で実施していただき、実施できない事項については、次期戦略策定の際の参考にするようしてください。

(2) その他について

【事務局】本日いただきましたご意見等を踏まえ、第3期四街道市まち・ひと・しごと創生総合戦略案について、再度検討させていただきます。

その後、修正等を加えまして、2月18日（火曜）からパブリックコメントを実施するとともに、3月市議会定例会において、第3期四街道市まち・ひと・しごと創生総合戦略案として報告します。

パブリックコメント及び市議会への報告の中で、内容について、大きな変更が生じた際には、書面等にて修正内容をご報告させていただきたいと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上でございます。

5. 閉会

【大下会長】それでは、そのほかにご質問等がないようでしたら、本日の議題はすべて終了いたします。皆様の円滑な会議運営へのご協力に感謝申し上げまして、令和6年度第3回四街道市総合計画審議会を終了いたします。本日はありがとうございました。

(以上)